

箱の家をはじめてから三週間、簡單ながら各自の思ひ思ひのさゝやかな店が出来上りました。机の上に順々店をならべて一つの町が出来上ります。店の前を走る電車

や自動車なども出来れば喜ぶでせうし、先生の方でそれをつくつてやつてもよい。

年長組 第二保育期

— 満五歳、満六歳 —

生活訓練

第二保育期も年末が近づいて来るミ、世間並みに忙しくなつて、生活訓練ミころでないミいふのか、すつミ空欄になつてゐる。幼稚園には暮も師走もない。そんなに慌しいミはなない筈だミいはれるか。それもそうだミするミ、或は、來年の小學校入學が近づいて来て、それで訓練ミころでなくなつてゐるのか。年長組だミあつて見れば、或はそんな

こころも思はれたりする。

ミ思つて、次の頁をあけて見るミ、第三保育期の一月早早いろくの訓練が始められてゐる。してみるミ小學校入學の準備のために、十二月一ぱい訓練休業ミいふ譯ではなかつたこころが分つた。

それなら何故こんなに空欄つゞきになつてゐるのかしら

ミ、よくよく考へて見たら、そうか三分つた。それは解説
子に、年末休暇を與へるためであつたのである。たゞそれ

誘導保育

第十三週

蝶

胴を裏表二重にして、羽根が上下に動く様に工夫し
た。觸角も二本つけ、之も動く様に出来る。

色塗り、切り抜き、——子供の仕事

ぬひつけ——大人の仕事

第十四週

まうなす人形

まうなすの胴に、女の子の上半身が乗つてゐる繪。す

つみ以前に、外國雜誌にぬりゑとして出てゐたもの、

之を原型にして、女の子の胴が前後に動く様に工夫し

た。

クリスマス家の

だけで別に何んの譯もないこゝであつたのである。

玩具展覽會で見たもの。サンタクロースのお爺さんが、

おもちゃの一つばいは入つた袋を擔いで、家の煙突か

ら出たりは入つたりするもの。サンタお爺さんは、幅

三センチ位、長さ二〇センチ位の厚紙の尖端に付いて

居り、之が煙突を上下する様な仕掛けに工夫されたも

のである。之は切紙の仕事もは入つてゐる。時節柄で

もあり、子供等に大變よろこばれる。

第十五週

かばん

ラシャ紙を用ゐた。女の子には、女の子らしい色のを、

男児には男児らしいものを與へた。形は、三つ折りに

して、一番上に出る所の形をいろ／＼にした。チュール

リップの花びらの様な形、櫻の花びらの様な形等に。